

## 4 市町村保険者に係る保険料(税)の状況

### (1) 調定の状況

令和4(2022)年度における保険税の現年度分調定額は、397億9,782万7千円で前年度より22億9,552万8千円(対前年度比5.45%)減となっている。

また、1世帯当たりの調定額は14万9,010円で前年度より4,541円(対前年度比2.96%)減となっており、1人当たりの調定額は、9万5,602円で前年度より1,326円(対前年度比1.37%)減となっている。

なお、調定額ベースでの平均賦課割合(医療給付費分)は、応能:応益=51.36:48.64であり、応益割が前年度より0.32ポイント減となっている。

### (2) 収納の状況

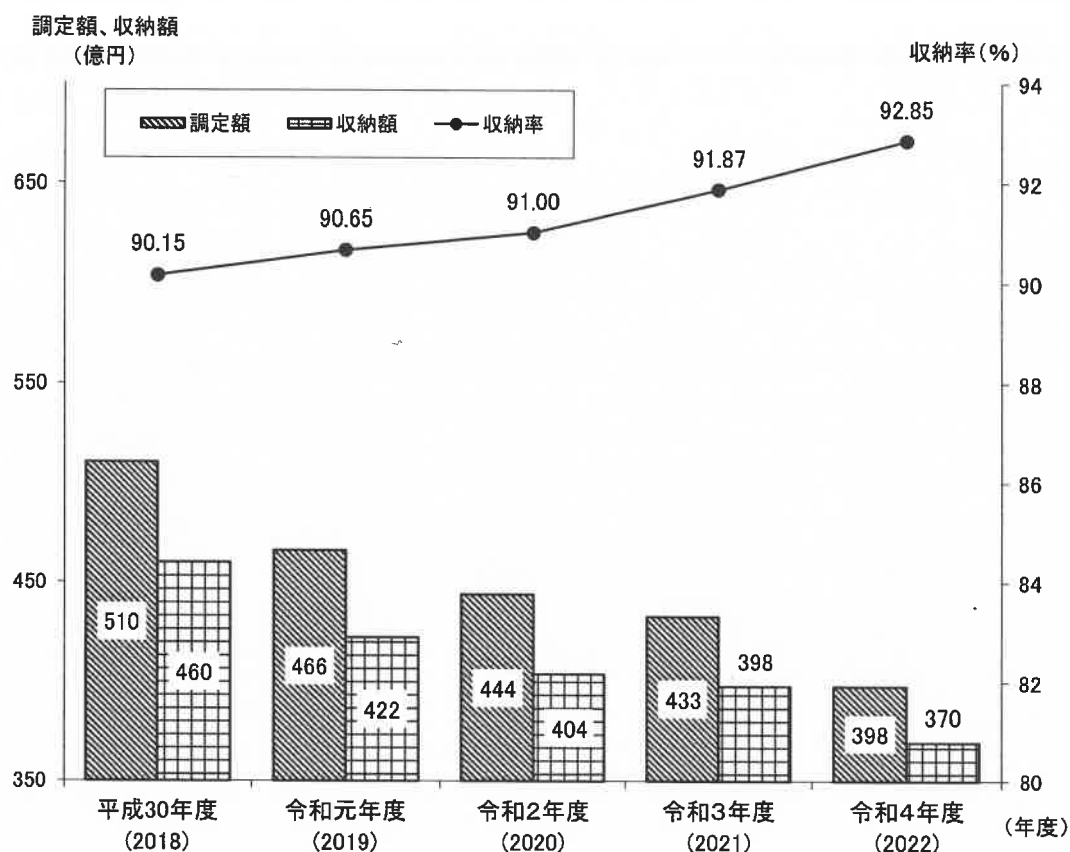
令和4(2022)年度における保険税の収納額は、394億3,355万6千円で、前年度より23億409万9千円(対前年度比5.52%)減となっている。

その内訳は、現年度分が369億5,229万2千円で前年度より20億1,585万2千円(対前年度比5.17%)減、滞納繰越分が24億8,126万4千円で、2億8,824万7千円(対前年度比10.41%)減となっている。

また、現年度分の1世帯当たりの収納額は13万8,356円で、前年度より3,795円(対前年度比2.67%)減となっており、1人当たりの収納額は、8万8,766円で、前年度より966円(対前年度比1.08%)減となっている。

なお、収納率は合計が77.63%で前年度より0.88ポイント増となっており、現年度分が92.85%で前年度より0.27ポイント増となっている。

図4 保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村、現年度分)



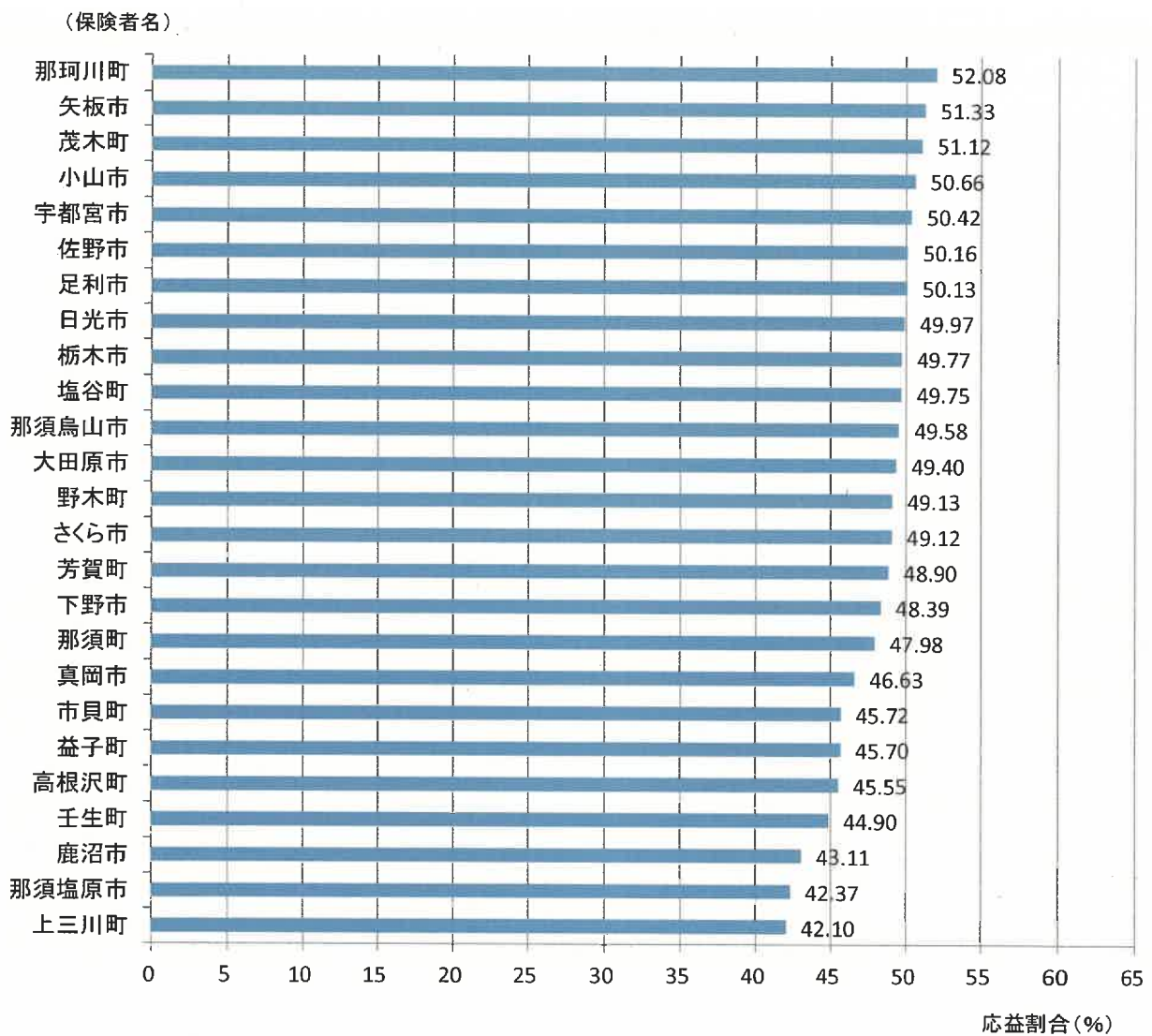
保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村)

(単位:千円、%)

年度	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
収納額	45,954,572	43,750,456	42,995,056	41,737,655	39,433,556
現年度分					
調定額	46,595,719	44,401,726	43,302,412	42,093,355	39,797,827
収納額	42,240,397	40,404,232	39,782,948	38,968,144	36,952,292
収納率	90.65	91.00	91.87	92.58	92.85
1世帯当たり(現年度) (単位:円)					
調定額	162,084	158,895	156,419	153,551	149,010
収納額	146,934	144,590	143,706	142,151	138,356
1人当たり(現年度) (単位:円)					
調定額	98,050	97,709	97,510	96,928	95,602
収納額	88,885	88,912	89,584	89,732	88,766

※調定額は居所不明者分調定額を含む。

図5 保険者別応益割合の状況(市町村、医療給付費分)

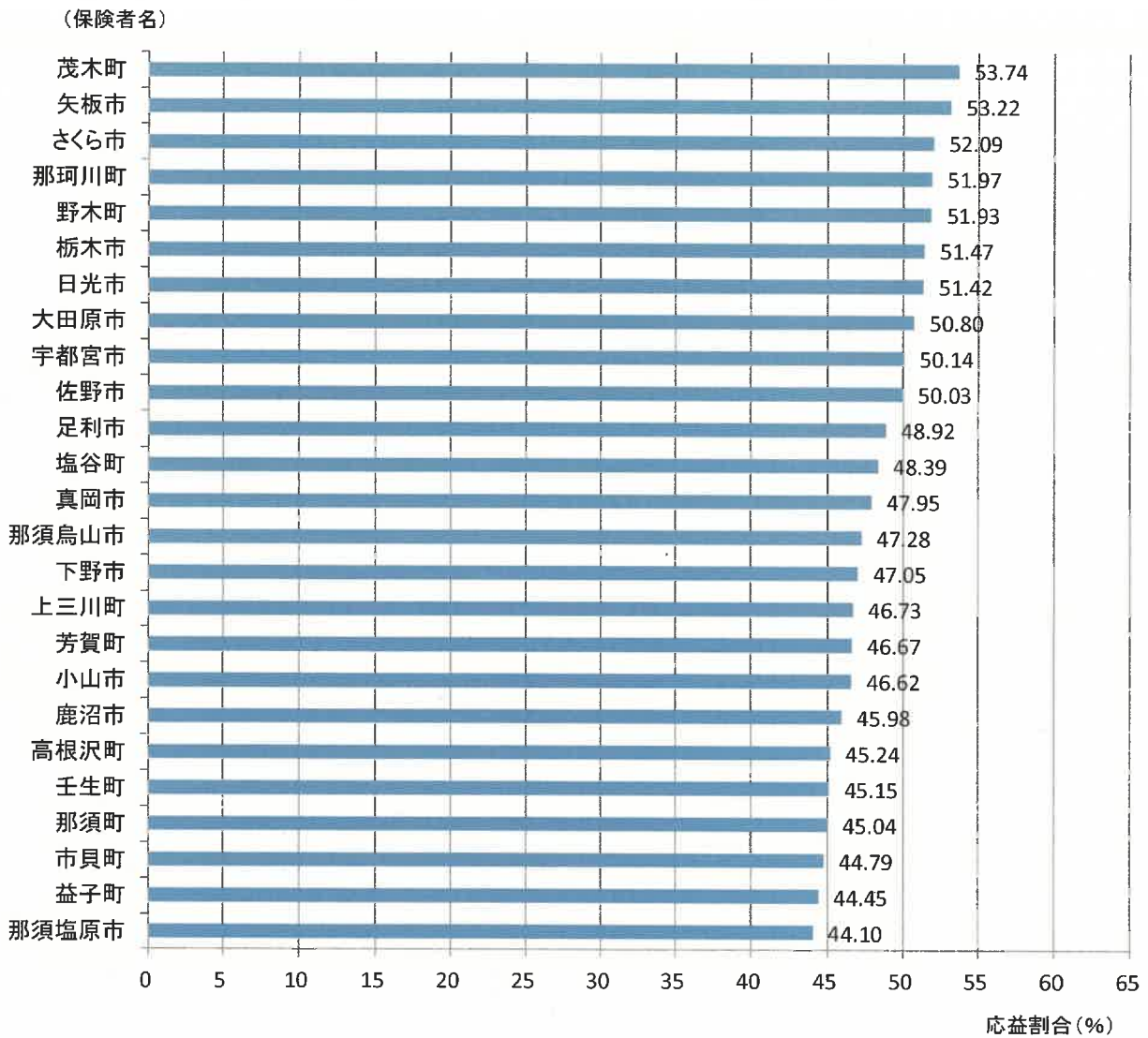


※賦課割合(調定額ベース)の応益割合の計算式:

(均等割+平等割) / (算定額計-限度超過額)

一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算

図6 保険者別応益割合の状況(市町村、後期高齢者支援金分)

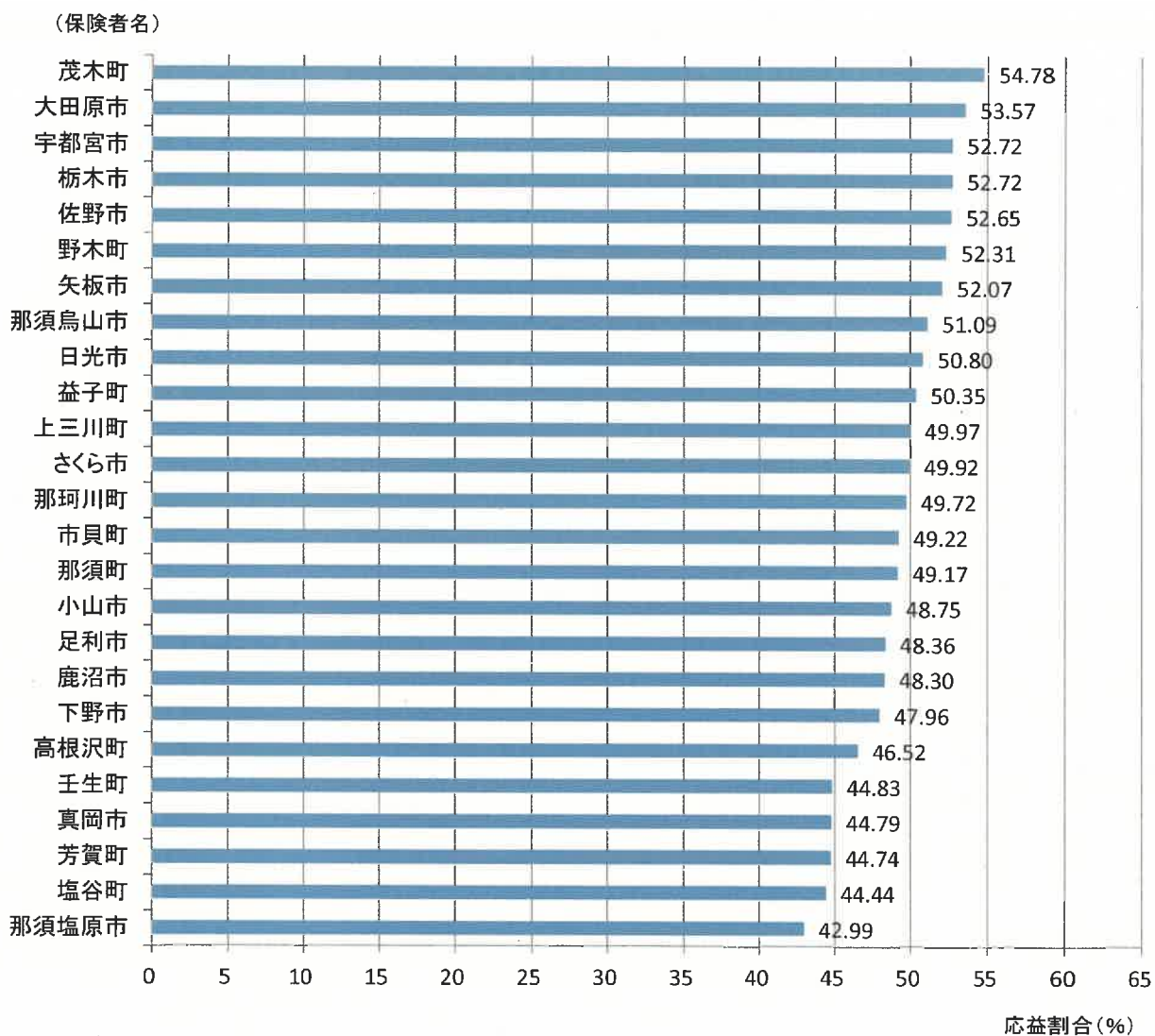


※賦課割合(調定額ベース)の応益割合の計算式:

(均等割+平等割) / (算定額計-限度超過額)

一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算

図7 保険者別応益割合の状況(市町村、介護納付金分)



※賦課割合(調定額ベース)の応益割合の計算式:

(均等割+平等割) / (算定額計-限度超過額)

一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算